

2011年 ESCRS(ヨーロッパ白内障・屈折矯正手術学会) オーストリア・ウィーン

2011年9月中旬「ヨーロッパ白内障・屈折矯正手術学会(ESCRS)」が数日間に渡り開催されました。本年も、西 起史(院長)・西 佳代(副院長)・西 悠太郎先生が出席。西 悠太郎先生は学術発表講演「眼内レンズ透見性の長期追跡」と座長講演(2時間)を行いました。西 院長は、例年同様、学術ビデオ「Video Competition 授賞式」の審査員として2011年の受賞者(Winners)を発表。また「老視治療の最前線」講演のシンポジストとして招待され「レンズ・レフィリングの現状について」の講演も行いました。



「ESCRS」とは、年に一度、世界各国から多くの眼科専門医がヨーロッパに集まり(7000人以上)、世界最新の眼科治療・眼科技術を公開発表し検討論議される「ヨーロッパ白内障・屈折矯正手術学会」の略です。